

開催中 8/日 23

カブト虫の森 10:00~16:00

場所/中津カブト虫の森(日高川町高津尾)

緑いっぱいに囲まれた自然体験型施設、「カブト虫の森」。園内の樹木にはたくさんの国産カブト虫が放してあり、自然に触れ合うことができる。またヘラクレスオオカブトなど、珍しい世界の虫も見ることができる。

8/金 14

日高川町夏まつり 17:00~21:00

場所/日高川ふれあいドーム(日高川町高津尾)

日高川が流れる自然の中で開催される夏まつり。鮎とウナギのつかみ取り大会や、スイカの早食い大会、マジックショーがあり、最後には花火大会が行われる。

●その他観光施設/■特産品販売所...道の駅SanPin中津 ■温泉...かわべ温泉きさくの湯、中津温泉あやめの湯鳴滝、美山療養温泉館 ■体験型観光・農家民泊...ゆめ倶楽部21 (http://www.town.hidakagawa.lg.jp/yumeclub)、かわべ天文公園など ●農産物・特産品/みかん、うすいえんどう、ゴーヤ、しいたけ、自然薯、ホロホロ鳥、紀州備長炭など



道成寺



笑い祭



稲山ダムとヤッホーポイント



紀州備長炭



日高川

1)701年に創建された県内に現存する最古の寺。重要文化財・国宝・文化財指定の仏像が祀られている。能や歌舞伎等で題材となる「安珍清姫物語」は絵解き説法で楽しめる。(2)毎年10月に行われる奇祭。先達(鈴振り)が愉快な衣装と化粧で「笑え、笑え」と練り歩く光景は、陽気で愉快。(3)県下一の規模を誇るダム。付近には日本一長い藤棚ロードや、山彦体験「ヤッホーポイント」がある。(4)日本一の生産量を誇る紀州備長炭。奥木ウバメガシを材料とした白炭で、堅さ・火力・火もちが特徴。炊飯器やお風呂に入れたりと生活用としても幅広く利用される。

町名でもある日高川は日本一長い二級河川である。護摩壇山に源を発し、山間部を大きく蛇行。丹生ノ川、寒川、初湯川などの支流と合流しつつ太平洋に注ぐ。流域には蜆の生息地が点在し、アマゴなどの溪流釣りや鮎釣り等が盛ん。安珍・清姫伝説の舞台である。

玉置俊久町長は、町内の間伐材でつくったログテーブルセットを町長室や本庁ロビーなどに設置。中津村森林組合で製作・販売している商品で、玉置町長自らトップセールスマンとして紀州材の良さをPRしている。町内の基幹産業の一つである林業の振興と紀州材のPRが目的。



町章

# 日高川町

平成17年5月1日合併  
合併前...川辺町・中津村・美山村

人口/11,133人(男5,230人 女5,898人)

世帯数/4,130世帯

平成21年6月1日現在、国勢調査基準人口世帯数による

# 顔のある町

vol.01

~表情豊かなまちづくりめざして~



# 元気があって暮らし良い、 共につくろう日本一の町を。



日高川町長  
玉置 俊久

日高川町は、すばらしい町です。世界一や日本一がたくさんある元気いっぱい町です。「世界一長い焼き鳥」の初代チャンピオンの町であり、日本一楽しい「やまびこポイント」もあります。日本の笑いの総本山、紀州日高の「丹生神社」では毎年秋、町中が笑いで包まれる「笑い祭」が行われ、お正月には「初詣初笑い」に全国から笑いを求めて多くの方々がお越しになります。町の西端、古典芸能の聖地「道成寺」には年間約三十万人の観光客が訪れ、能、歌舞伎、文楽、日本舞踊の第一人者の方々も「道成寺物」の舞台の成功祈願に参拝されます。これからの時代、単なる「観光」ではなく、新鮮で安全、安心の「生産者が見える地場産品」を買い求める買い物ツアアがますます人気となってきています。そのためにも日高川町では近隣市町と一つになって、高速道路のフルインターチェンジ化、四車線化などインフラ整備の早期実現に向けて今後とも精力的に取り組みながら、「ホテル、自然エネルギー、有機、減農薬」をキーワードに、農工商を連携させた事業展開のなかで確固たる「日高川ブランド」を創出していきます。そして楽しみながら高齢者の方々も参加できる「元気が出るサンピン販売所」、道の駅などを拡充、地域産品について販売強化してまいります。

また日高川町は自然豊かな町です。風力、水力発電に太陽光を加えて、自然エネルギーによって作られた電気です、自立できる町です。「役場の車をエコカーに、町内を縦横に走るコミユニティバスを電気自動車に」など国のモデル地区を目指しています。そんな夢のような町になれば今後、取り組んでいく「日高川ブランド」の考え方もより一層鮮明に理解していただけるのではないのでしょうか。ホテル、水、緑、自然豊かな町の農産物、町内では有機農法の先進者も多くおられます。町名の由来である日高川は全国で一番長い二級河川です。春から夏にかけて、鮎釣りを楽しめる人々や、河原でのキャンプ、水遊び、カヌーなどで賑わいます。なかでも自慢できる環境として、五月中旬から六月にかけて、日高川の支流域ではホテルが飛び交っています。このホテルは住民の環境意識で守られてきた自然発生のゲンジボタルです。このように私たちの日高川町は自然がいっぱいの楽しい町です。当然おいしい野菜や果物がいっぱい生産されます。私たちの町に、ぜひ一度お越しください。そして日高川町のおいしい「水」「農産物」「元気」を存分に体感してみてください。

11/3祝

### かつらぎ産業まつり

10:00～15:30 場所/かつらぎ公園及び河川敷  
かつらぎ公園グラウンドでの農産物等販売を中心に、メイン会場では、太鼓の演奏や餅まきなどが行われ、河川グラウンドでは、フリーマーケットや自衛隊の機動車、消防車の体験乗車などが行われます。

11/23祝

### 四郷串柿まつり

9:00～15:00 場所/四郷地区(主会場:四郷小学校)  
串柿づくりの実演及び体験、フォトコンテスト、ジャンボ巻き寿司づくり、ふるさと産品の販売をはじめ、郷土芸能四郷千両太鼓の演奏など地域一体となった祭りが行われます。

●その他観光施設/■保養・宿泊施設…志賀ふれあい会館、ふるさとセンター「ねむの木」、花園守口ふるさと村 ■温泉…かつらぎ美嶋温泉、野半の里「蔵乃湯」、花園温泉、ええやんかよむら岬の足湯 ●農産物/串柿・平核無柿・富有柿・紀ノ川柿・もも・すもも・はっさく・うめ・ブドウなど ●特産品/串柿・柿酢・あんぼ柿・柿の葉寿司・柿子ワイン・柿の葉茶・テーブルしいたけ・ごま豆腐・川上酒・くるみ餅など



1)丹生都比売神社/1700年前に創建されたと伝えられており全国各地に祀られる180の丹生神社の総本社。平成16年世界遺産登録。 2)金剛の滝/勢いよく水がほとばしるダイナミックな滝で、川遊びに釣りにとアウトドアライフが楽しめるプレイスポット。 3)四郷・串柿の里/串柿の里として400年も昔から伝統を育んできた四郷地区では、11月中旬頃になると串柿が、深まる秋の風物詩として山里を彩ります。 4)フルーツ狩り/かつらぎ町では一年中おいしいフルーツが実り、フルーツ狩り体験では季節の旬を思う存分満喫できます。



町の花  
あじさい



町の木  
きんもくせい



町章

## かつらぎ町

平成17年10月1日合併  
合併前…かつらぎ町・花園村

人口/19,334人(男9,107人 女10,227人)

世帯数/7,142世帯

平成21年6月末日現在(広報誌8月号発表)

# 顔のある町

vol.02

～表情豊かなまちづくりめざして～

katsuragi-eyo

# 緑に囲まれた、潤いと 安らぎのあるふるさとづくり。



かつらぎ町長  
山本 恵

## 旧

かつらぎ町と旧花園村が合併し、平成17年10月1日に新しくかつらぎ町が発足しました。本町は気候が温暖で、美しい自然環境に恵まれた地域です。日本一の生産量を誇る柿をはじめ、「フルーツのまち」として、桃やスモモ、梅、ぶどう、柑橘、栗、りんご、キウイフルーツ、ブルーベリーといった多品種、多彩な果物を栽培しています。大阪府と結ばれている南北の幹線道路沿いには豊富なフルーツを手軽に味わっていただける「観光農園」が盛んで、大勢の人々がお見えになっています。

また、秋の風物詩として有名な四郷の串柿をはじめ、天野が環境省の「ふるさといきもの里百選」に認定されており、世界遺産に登録された「丹生都比売神社」や「二ツ鳥居」、「高野山町石道」など歴史的な文化遺産も点在しており、訪れる人々も大勢いらっしゃいます。大阪府守口市と友好都市である旧花園村地域ではいまも「花園守口ふるさと村」や「花園ふるさとセンター」をはじめ、都市と山村が友好的な交流を楽しむことのできる拠点が活用されています。

## 現

在、かつらぎ町では、都会の人々が民家に滞在して稲刈りや野菜栽培、果実の収穫など農村体験を楽しめる「農家民泊」をスタートさせました。田舎ならではの体験メニューを味わっていただき、私たちのふるさと、かつらぎ町の魅力をもっと広く知ってほしいと願っています。ただ県内の農村部は共通して、農業の収入が安定しないことや若者の農業離れもあり、就業人口が減少し、少子高齢化が進んでいます。なかでも仕事や生活の利便さを求め働き場の住居を構える傾向があり、若い人たちの流出が目立っています。このような状況をふまえ、まちの基幹産業である農業の方向性を見定め、地場生産品のブランド化をはかったり、農産物直販所の活用整備、あるいは森林、果樹園、水田、溪流など資源を生かした観光、「ふるさと雇用」を活用した観光の推進、世界遺産の中心地である高野山と連携した広域観光など、あらゆる方向性を見いだしながら特に農業・観光の活性化をはかっていきたいと考えています。

## ま

た町民の皆さまが安心して住み続けていけますように、地域の人々の足となる「コミュニティバス」の運行改善、小学校の建て替え、中学校の耐震補強、通利便性の向上や都市との交流を推進するための府県間トンネルや京奈和自動車道などの基幹道路の整備といった将来の地域やまちのことを、行政と町民が一緒になって考え、住民に開かれたまちづくりを進めてまいります。

### 東西岩代八幡神社祭礼「岩代の子踊り」

場所／西岩代八幡神社、東岩代八幡神社

西岩代八幡神社と東岩代八幡神社の秋祭りでは、県無形民俗文化財に指定されている「岩代の子踊り」や獅子舞が奉納される。「岩代の子踊り」は、元禄時代に創始という歴史あるもので、小学校6年生までの児童が、神よいさめの子踊り、手習の子踊り、等を奉納。同日、西岩代八幡神社では千本桜、花桜、扇舞、黒髪舞の舞、等が奉納される。

### 全国の災害復旧に駆けつける地元救助隊

民間災害ボランティア団体「紀州梅の郷救助隊」(尾崎剛通隊長)は、7月に土砂崩れなどの被害が発生した山口県防府市に続き、先月中旬、水害の発生した兵庫県佐用町で復旧作業を展開。橋梁の点検や整備作業に尽力した。同救助隊は阪神・淡路大震災をきっかけに発足。これまで新潟中越地震の被災地などに向向き、ボランティアで復旧作業に取り組んでいる。



1)うめ振興館／日本一の梅の里「みなべ町」の顔として、梅に関する情報の発信拠点。梅の歴史や効能などが楽しく学べる。道の駅指定。 2)紀州備長炭／町の木ウバメガシを原木とし、火持ちがよく独特の火力でウナギの蒲焼きなどに珍重。脱臭効果など燃料以外の活用も。 3)千里海岸／熊野古道で唯一海浜を通った場所。本州一を誇るアカウミガメの上陸地。 4)南高梅／みなべ町で誕生した梅のトップブランド。果肉が厚く果汁たっぷり。皮が薄く梅干、梅酒、梅ジュースと多方面に利用。 5)南部梅林・岩代大梅林／「一目百万本、香り十里」と賞され、南部湾を見下ろす山々に広がる南部梅林。岩代大梅林は広大な土地に約2万本の梅が植えられている。 6)みなべ町は、県のほぼ中央部に位置し、東西に細長い地形です。面積の約7割を山林が占め、その半分は人工林です。南部川流域の丘陵地には梅林、山間部は森林・溪谷などの自然資源に恵まれ、黒潮洗う海岸線は風光明媚な景観を誇ります。



町の鳥  
うぐいす  
町の花  
梅花  
町の木  
うばめがし  
町章

## みなべ町

平成16年10月1日合併  
合併前…南部町・南部川村  
人口／14,389人(男6,890人 女7,499人)  
世帯数／4,719世帯  
平成21年8月末日現在

# 顔のある町

vol.03  
～表情豊かなまちづくりめざして～



# 自然とふれあいで感動！ 日本一を誇る梅の里。



みなべ町長  
小谷 芳正

平成十六年十月一日、みなべ町は南部町と南部川村が合併して、県内で一番早く誕生した町です。梅の代表品種である南高梅の故郷としてよく知られ、青梅とともに梅干しの生産など、文字通り日本一の梅の里です。その栽培技術や栽培方法、新品種の研究、新しい加工技術の開発については、梅栽培にたずさわる農家の方々、加工業者、あるいは役場の専門スタッフたち、皆さんそれぞれがどこにも負けない誇りと自信をお持ちです。後継者も根づき、農家もたくさんあって、地元で採れたものを地元で加工できる農産物がある、これは町の経済を支える産業として大きな強みだと思っています。梅干しは昔から身体に良いと言われてきましたが、すぐれた健康食品として改めてその効能を見直すため、私たちみなべ町では、県立医科大学の研究グループと公営研究機関「うめ21研究センター」との共同研究によって、その医学的効能の一つ、胃かいようや胃がんの原因となるヘリコバクターピロリ菌を抑える効能が梅の実にあることを突き止め、特許を取得するなど梅業界に新たな話題を提供しています。また同研究センターでは長年の研究と高い技術力によって将来性のある梅の新品種もすでに開発させています。

**水** 産業に目を転ずれば、棒受け網漁や巻き網漁など様々な漁法で水揚げされる魚種は豊富で、イワシやサバ、アジ、イセエビなど約八〇〇種類にも及び、みなべ町は年間水揚げ量も常に県下トップ級を誇っています。それら新鮮な魚介類を活かした水産加工も盛んで、イワシの目刺し、イカの一夜干し、シラスちりめん、カマスやアジの開きなどの乾物が人気です。みなべ町で製炭される紀州備長炭は火持ちが良く、独特な火力があり古くから最高級品の炭として全国の食通の方々に珍重されています。最近では炭の脱臭調湿特性を応用して建築資材や水質浄化資材など多用途に活用されており、今後はさらなるブランドの確立や他産業との連携を進めていきたいと考えています。もう一つ、町が積極的に取り組もうとしているものに観光事業があります。二月中に毎年開催される大がかりな観梅ツアーの他にも、美しいリアス式の海岸線が連なる景勝地では磯釣りや磯遊びが出来、沖には珍しいオオカワリインゲンチャクが群生する貴重なポイントも多く、一年を通じてダイビングが楽しめます。教育旅行といって、これは県のほうでも積極的に取り上げている施策の一つですが、私たちの町でも多くの関係者の方々に協力いただき、県内外の小中学校や高等学校を対象として、もっとみなべ町へ来ていただき、みなべ町ならではの自然や産業、特産物とふれあい、この町を好きになっていただきたいと思っています。

### 2010年 2/祝 11

#### 杉野原の御田舞

場所/雨錫寺阿弥陀堂(有田川町杉野原)  
西暦偶数年の2月11日、雨錫寺阿弥陀堂で行われる「杉野原の御田舞」。国指定重要無形民俗文化財にも指定されているこの伝統行事は、春田起こしから収穫まで稲作の全生産過程を演じて、その年の豊稔を祈願する予祝行事です。とりわけ御田の冒頭に行われる裸苗押しは、ふんどし姿の男たちが肩を組みながら、「柴燈(さいと:大火鉢のこと)」の周りをまわる勇壮なもの。この地方独特の伝統行事です。

### 2010年 3月中旬

#### 生石高原山焼き

場所/生石高原笠石周辺(有田川町生石)  
生石高原のススキの保全と再生を図るため、毎年3月中旬に生石高原山焼きが行われます。「燎原(りょうげん)の火」ということわざのとおり、ススキにつけられた火は、瞬く間に燃え広がっていきます。ススキが音を立てながら燃え盛る豪快な光景は、必見です。



1)生石高原/本町と紀美野町にまたがる「生石高原」では、四季折々の草花を観賞することができます。秋のススキが有名で一面の銀世界となり、より一層自然の美しさを輝かせます。 2)かなや明恵峡温泉/明恵上人生誕地近くにある「かなや明恵峡温泉」。露天風呂から眺める明恵峡の景色が美しく県内外から人気があります。町内には他にも個性あふれる温泉施設があります。 3)あらぎ島/蛇行する有田川の流に沿い、見事な造形美を魅せる「あらぎ島」。『日本の棚田百選』にも選ばれ、山保田の初代大庄屋・笠松左太夫の尽力で完成した扇形の棚田です。四季折々の姿はカメラマン絶好の被写体になっています。 4)湯川渓谷/さがり滝、銚子の滝、五段の滝という3つの滝が流れ落ちる渓谷。例年、10月末から11月中旬にかけて、静けさに包まれた山間が、赤や黄色の鮮やかな紅葉に彩られ、見る人の心に感動を呼びます。



町の鳥 ヤマガタ

町の花 コスモス

町の木 みかん

町章



特産品 ぶどう山椒



特産品 有田みかん

## 有田川町

平成18年1月1日合併  
合併前…吉備町、金屋町、清水町

人口/28,463人(男13,482人 女14,981人)

世帯数/9,999世帯

平成21年9月30日現在、有田川町提供資料

# 顔のある町 vol.04

～表情豊かなまちづくりめざして～



# 有田川がつなぐ、人と自然、山とまち。



有田川町長 中山 正隆

## 私

私たちの郷土である有田川町は、平成十八年一月一日、旧吉備町、旧金屋町、旧清水町の三町が合併して誕生しました。地方分権の推進、少子高齢化の急速な進行、高度情報化の進化等々、地方公共団体を取り巻く環境は近年ますますその変容を遂げつつあり、地方自治体のあり方が今まさに大きな転換期を迎えようとしています。このような状況の中、有田川町では旧三町が今日まで築き上げてきた「まちづくり」を土台として、さらに新たな「まちづくり」を総合的、かつ計画的に構築していくための指針となるべく第一次有田川町長期総合計画を策定。その基本理念となる町の将来像として「きらめきひろがる有田川、有田川がつなぐ、人と自然、山とまち、交流が未来をつむぐ」と定めています。まさにこの言葉にある通り、私たちの有田川町には人や自然、産業、伝統文化など、様々な「きらめき」を持った魅力あふれる数多くの資源が今も継承されています。

## わ

が町の主産業は農林業で、なかでも「有田みかん」を中心にぶどう、トマトなどの生産が盛んです。最近ではスプレー菊の栽培、出荷量が伸びてきており全国的にも有名です。また、清水地区で生産されるぶどう山椒は良質で生産量が日本一。その他にも林業で活性化を図ろうと取り組んでいます。そしてもう一つ、町の取り組みとして観光産業にも大いに力を入れています。昨年三月、待望久しかった「JR藤並駅」の新駅舎が完成して念願の特急停車が実現。大阪、京都方面からの乗降客が増加しています。わが町の魅力をもっと多くの方に知っていただくため、観光施設無料巡回バスの運行も間もなく開始します。現在、阪和自動車道、国道424号の工事着々と進展しており、利便性の向上が町全体の活性化に大きく寄与するものと期待しています。町内にはしみず温泉をはじめ良質の温泉が幾つかあり、山間部にはゆっくりにつろいでいただける公営、民間の宿泊施設が充実。キャンプ場やスポーツ施設も数多くあり、恵まれた自然の中で多くの皆様に存分に楽しんでいただけます。秋篠宮妃殿下紀子様のご生家、川嶋家にゆかりのある有田川町では、紀子様のご長男、悠仁親王殿下のお誕生日にあたる九月六日に御祝祭として本年も第三回「キャンドルライトイルミネーション」をあらぎ島で開催致しました。一七〇〇本の竹灯籠に点灯すると、幻想的な夜の「あらぎ島」が浮かび上がりました。美しい扇形の棚田「あらぎ島」は日本の棚田百選にも選ばれています。が、四年後の二〇一三年にはこの地で「全国棚田サミット」を開催する予定です。

### 花と緑のリサイクル「花まつり」

3月下旬

場所／橋本市民病院前 菜の花栽培地特設会場  
橋本市の「生ごみ堆肥化」推進事業の一大イベント。ステージイベント、ミニ電車、スタンプラリー、生ごみ堆肥化とEMボカシ作りの講習会、廃食用油ローソク作りや模擬店、そしてバイオディーゼル燃料化の実演などを実施し、生ごみの堆肥化に伴うごみの減量化の普及高揚を図ります。

### 楽しいぞ！数学ワンダーランド！

橋本市の名誉市民であり、数学者として文化勲章を受章された岡潔(おか きよし)博士(1901～1978)。故人の業績を顕彰するとともに、「算数・数学が楽しい」「おもしろい」と興味を持つ子供たちを一人でも多く育てようと、「橋本市岡潔数学WAVE」(橋本市社会教育公認団体)が平成21年8月に設立。子供たちや保護者を対象に「おもしろ算数・数学教室」や数学者を招いてセミナーなどを開催。将来的には数学コンクールを開くなど「算数・数学を学ぶことの楽しさ」を通じて、橋本市を「算数・数学のまち」としてPRしていきます。



- 1) 紀州へら竿／120年の伝統を受け継ぐへら竿は、全国シェア90%を占め、和歌山県伝統工芸品第1号にも指定されています。紀伊清水界限は「へら竿の里」と呼ばれ、釣り人羨望の竿はここから生まれています。
- 2) パイル織物／パイル織物とは、織物の基布に毛が織り込まれている特殊な有毛布地です。橋本市は生産量日本一で、その製品は高級毛布からインテリア用品まであらゆる分野にわたり、世界各国で広く愛用されています。
- 3) 鶏卵／県内生産量の過半数を占める県下随一の産地。高品質で知られ、お菓子屋さんにも人気があります。
- 4) 柿の葉ずし／熊野灘で獲れたさばを使った押し寿司を、柿の葉で包んだ風味豊かな郷土料理です。
- 5) 柿・ぶどう／味・品質とともに日本一といわれる柿や、果肉がぎっしりとつまった巨峰が自慢です。



市の木 さくら



市の木 もくせい



市の花 さつき



市章

## 橋本市

平成18年3月1日合併  
合併前…橋本市・高野口町  
人口／68,457人(男32,491人 女35,966人)  
世帯数／25,952世帯  
平成21年9月30日現在

# 顔のある町 vol.05

～表情豊かなまちづくりめざして～



## ひと、自然、歴史が調和する 職住近接のまちづくり。



橋本市長 木下 善之

### 橋

本市は和歌山県の東の玄関口であり、高野山のふもと、母なる紀

の川の中流域に位置しています。大阪の都心、和歌山市、奈良市からおよそ40～50キロの距離にありながら、非常に自然豊かな環境に恵まれた田園都市としての顔も持ちあわせています。市の北部には南海電鉄が中心となって開発してきた田園都市型ニュータウン「橋本林間田園都市」の整備が着々と進み、良好な住環境のもと、すでに多くの皆さまが生活されています。また橋本市民病院をはじめとする医療施設の充実や、複合的な大型商業施設の立地が進むなど、生活する上で必要かつ質の高い機能が整い、便利で快適な生活環境が実現化しています。わが町は古くから高野街道と伊勢(大和)街道の交差する交通の要衝として、また高野山参詣の宿場町、産業の集散地として栄えてきました。豊かな水と温暖な気候に恵まれたこの地域では、柿や巨峰など果樹栽培や養鶏が盛んですが、その一方で明治時代から綿ネル製造を中心としてスタートした「パイル織物」、120年の伝統を有する「手作りへら竿」については全国シェア90%を占めるなど、全国的に誇れるすぐれた伝統産業が今も息づく「ものづくりの町」であります。そのような先人たちの意志を引き継ぎ、近々では新たな産業復興に向かって和歌山県と橋本市とが共通の認識のもと、県の企業立地重点促進地域「紀北橋本エコヒルズ」を造成して本格的な企業誘致に乗り出しています。

**市** 役所内には「企業誘致室」を設置して専任の職員を配属させ、全国の企業に向けて積極的な誘致活動を続けていますが、私自身もトップセールスマンと自覚して多くの優良な企業へと足を運び、橋本市やその事業用地について熱意を込めてご説明にあたらせていただいております。企業の立地が確定すれば併行して順次、生活インフラについてもさらに充実することも考えています。こうした一連の努力が認められたのか、平成19年末には経済産業省の『企業立地に頑張る市町村20選』に近畿では京丹後市とともに2市だけが選ばれました。交通の要衝を受け継ぎ、京都・奈良・和歌山を結ぶ京奈和自動車道、大阪府下の都市と結ぶ高規格道路としての国道371号バイパス工事の進捗具合とあいまって、数年後にはさらに交通網の充実が見えてまいります。これら橋本市の特性を活かしながらなお一層企業誘致には力を入れ、とくに若い人たちが安定して橋本市で生活できるように「職住近接」のまちづくりを行うとともに、ごみの減量化・堆肥化と併せて、まち全体を花いっぱいにする「花と緑のリサイクル運動」を展開させ、「住みやすいまちづくり」「住んでよかったまちづくり」に取り組み、「時間(とき)ゆたかに流れくらし潤う創造都市 橋本」をめざします。



http://www.city.iwade.lg.jp/

### 岩出市イメージキャラクター そうへいちゃん

「そうへいちゃん」は、岩出市民みんなの夢や願いを叶えるために生まれました。「そうへいちゃん」が一番願っていることは、岩出市をすてきな街にすること。岩出市に住んでいる人が健康で元気に過ごせること。市民みんなの願い(市民憲章)を実現したいな。みんなはどんな夢や願いを持っているのかな? 「そうへいちゃん」は、夢や希望に燃えている人の心の中に住んでいるんだよ。



#### 【市民憲章】

私たちは緑の山と紀の川の清流に育まれた岩出市の市民であることに誇りをもち平和を重んじ豊かなまちをつくるためにこの憲章を定めます

- 一、自然を大切にきれいなまちをつくりましょう
- 一、人を愛し助けあう笑顔のまちをつくりましょう
- 一、健やかで生きがいをもつ市民になりましょう
- 一、教養を高め歴史と文化を受取る市民になりましょう
- 一、産業を育成し活力あふれるまちづくりに努めましょう



1)いわで夏まつり／岩出の夏を彩るお祭り、「メッセージ花火」等の楽しいイベントがあり、当日は多くの来場客で賑わいます。2)紀州根来寺かくばん祭り／岩出市の秋の風物詩ともいえるお祭り、「根来寺能」や「根来の子守唄」等が披露され、岩出の歴史文化を体感できます。3)ねごろ大唐／果長10～15cm・果重20～25gで辛味が少なく果肉が厚く柔らかいニュータイプのとうがらしです。4)根来塗り／往時の根来寺で僧徒が日用食器類等の塗り物を自分たちで作っていたもので、朱と黒漆がかもし出すコントラストが美術品として高い評価を受けています。



市の鳥  
うぐいす



市の木  
うばめがし



市の花  
さくら



市章

## 岩出市

人口／52,607人  
(男25,434人 女27,173人)  
世帯数／20,288世帯  
平成21年12月31日現在

# 顔のある町

～表情豊かなまちづくりめざして～

## 活力あふれるまち ふれあいのまち

「対話と協調」による住んでよかったと思えるまちづくり



岩出市長  
中芝 正幸

**岩** 出市は、和歌山県の北部に位置し、和歌山市の中心部から約15km、大阪都心部から約50km、関西国際空港から約30kmの距離にあり、市を東西に流れる紀の川や和歌山脈の緑あふれる山々に囲まれた豊かな自然環境や温暖な気候を背景に、紀の川沿いの豊かな穀倉地帯として古くから着実に発展してまいりました。また、岩出市を代表する観光名所に新義真言宗総本山根来寺があります。根来寺には、国宝大塔をはじめ貴重な建造物が建ち並び、春は桜、秋は紅葉の名所として、毎年、多くの観光客で賑わっており、また、根来塗、根来寺能や根来の子守唄等、素晴らしい伝統文化があり、現在、市民による保存・継承活動が続けられています。

このように豊かな自然と歴史文化にあふれる岩出市も、近年では大阪泉南地域や和歌山市のベッドタウンとして人口増加が続き、平成18年4月1日には住民待望の岩出町単独での市制施行を実現しました。岩出市では市制施行を飛躍の絶好の機会と捉え、都市の風格を備えた市にふさわしいまちづくりを計画的に推進しております。早いもので、今年で市制施行5年目を迎えます。これまで取り組んできた重点事業の一つである公共施設の耐震化事業につきましては、昨年9月末に市内すべての公民館、市立保育所や小中学校の耐震化工事が完了しました。学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に、災害発生時には地域住民の避難場所となる大切な施設であります。市民の生命を守るため、平成13年度から取り組んできた公共施設の耐震化事業が大きく結実したことを大変うれしく思います。

**昨** 年9月の政権交代によりこれまでの国の構造が大きく変わろうとしています。ハード事業からソフト事業への転換、また、地方政策として地域主権の推進が大きな課題となっておりますが、岩出市においても、これまでのまちづくり経過や市民からの意見・要望を踏まえた上で、国の動向には十分情報を収集し柔軟に対応していくことが求められます。

**不** 景気による税収の落ち込みが懸念されるなか、市民生活に直結する地方自治体を取り巻く環境は今後ますます厳しくなってくるのが予想されますが、多種多様な住民ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供することが私どもの責務であると認識しております。今後も、住民との「対話と協調」のもと住んでよかったと思えるまちづくりに精進してまいりますので、住民の皆様方のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 「トルコ軍艦エルトゥールル号 120周年追悼式典」

6月  
3・4・5

場所／トルコ軍艦遭難慰霊碑前(大島) 他  
エルトゥールル号の悲劇、島民の奮闘、そしてトルコとの交わりを語り継ぐ式典が120周年という節目の今年、3日間にわたり開かれます。トルコ民族の踊りや歌も披露され異国の文化に触れます。近くにはトルコ記念館があり乗り組み員たちの遺品などを展示。

### 「古座川クリーンアップ大作戦」

5月  
中旬

場所／古座川  
全国屈指の清流・古座川。川の底まで見えるほど透明度が高く、毎年その美しさを保つためにカヌーでのゴミ拾いが行われます。カヌー用具はレンタル可能。初心者にも優しくレクチャーしてくれるので気軽に参加してみても。要予約。  
☎0735-72-0645(古座観光協会)



1) 潮岬望楼の芝生にて開催される芝焼き。枯れた芝を焼くことで害虫を駆除し新芽の育成を促す火祭り。 2) 橋の杭を思わせる大小40余りの奇岩。その昔、弘法大師が大島への橋を架けようとしたところ天の邪鬼に騙されて途中で断念したという伝説が残ります。国の名勝天然記念物。 3) 串本町沿岸の海域はスキューバダイビングのメッカ。ラムサール条約湿地に登録され、世界最北限のテーブルサンゴなど数多くのサンゴが保護されている。 4) 大島地区の水門神社例祭。二隻の伝馬船が水しぶきを散らす権伝馬競漕が一番の見どころ。 5) 底冷えのする冬の朝、暖流と気温の温度差によって、田原海岸で海霧が発生します。海霧の中から昇る太陽は「神々の国熊野」を彷彿とさせてくれます。 6) 本文でも語られているエルトゥールル号の遭難碑。檜野埼灯台南東約300mの広場にたたずむ。近くにはトルコ記念館もあり。



## 串本町

平成17年4月1日合併  
合併前…串本町・古座町

人口／19,209人(男8,959人 女10,250人)  
世帯数／9,212世帯  
平成22年2月1日現在

# 顔のある町

vol.08  
～表情豊かなまちづくりめざして～

# 120周年追悼式典から学ぶ、 日本人の誇りと美しい心。



串本町長  
田嶋 勝正

**本**州最南端の町として知られる串本町。今年には檜野崎の東方海上沖で遭難沈没したトルコ(旧オスマン帝国)の軍艦「エルトゥールル号」の事件から120年という節目の年にあたります。この6月3日～5日の3日間にわたり、大島檜野崎において、「トルコ軍艦エルトゥールル号120周年追悼式典」を行います。いまその式典に向けて町役場でもその準備に余念のないところです。一方、トルコ共和国では今年2010年を「トルコにおける日本年(にほんねん)」と銘打って一年間を通じ、トルコ国内の主要都市各地で日本との交流をめざした式典やイベント、シンポジウム、文化交流会など事業が目白押しに組まれています。なかでも9月上旬、姉妹都市のメルシン市では「エルトゥールル号の慰霊式典」が催される予定で、ツアー参加者を募り大勢の町民の皆さまと一緒に参列してまいります。

**以**前、無量寺というお寺から、生存者53名のカルテと村の医師3名が連名でつづった古い書簡の一部が見つかりました。当時のトルコ政府が感謝の意を述べると共に、薬代や治療代を遠慮なく請求してくれという問いかけに対し、「そのようなものを請求する気持ちはなく、ただ救助一途の思いであった。もしお金があるのなら遭難者たちへの義援金に充ててください」という内容でした。ほかにも資料や文献などを調べてみると、村民あげての懸命な救出活動の顛末や日本政府の真摯な対応、あるいは慈愛に満ちた明治天皇のご意向など、現代の日本人が忘れてきている「義と愛の精神」をこの海難事故は思い出させてくれます。じつはこの「エルトゥールル号」の史実を映画化にという動きがありまして、その受け皿となるべく、商工会や観光協会、役場の若手たちが中心となって映画製作準備委員会を立ち上げようとしています。

**ま**た本年は合併以後、建設が急がれておりました新病院の本体工事がいよいよスタート致します。着工までいろいろ課題もありましたが、過疎債や交付金なども併せて資金を有効利用し、新宮医療圏の中核病院としていろいろと機能を果たすべく、最新の医療機器等も導入していくつもりです。若いご夫婦や高齢者の皆さんたちが安心して暮らせる生活環境、その第一条件はやはり医療の充実ではないでしょうか。そのほか大島にある近畿大学水産研究所では2002年、世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功しました。加えてマルハニチロなど水産の大手が相次いで串本町の海域にマグロ養殖用の生け簀を増設するなど事業計画を発表されており、日本有数の漁業の町であったわが町にもう一度、かつての活気が戻ってくることを大いに期待しているところです。



4/（祝）  
29

### 「生石高原山開き」

場所／生石高原

今年一年の登山客の安全を祈願する山開き式典のほか、餅投げが行われます。さわやかな春の一日、生石高原で過ごしませんか。

8/（日）  
15

### 「きみの夏祭り」

場所／木の温もり広場（紀美野町文化センター内）

会場内には夜店が並び、浴衣姿の町民が盆踊りや太鼓の演奏などを楽しむ。祭りのフィナーレは打ち上げ花火。紀美野の夏の夜を彩ります。



1)生石高原／標高870mの生石高原は、夏から晩秋にかけてスキの大草原が広がり、そのスケールは関西随一。  
2)生石高原山焼き／スキの保全のため、毎年3月中旬に山焼き(約8.8ha)が行われ、春の風物詩となっています。  
3)みさと天文台／一般公開用としては世界でも屈指の口径105cmの反射望遠鏡で本格的なスターウォッチングが楽しめます。  
4)のかみふれあい公園／芝生広場をはじめ、パークゴルフ場(公認36ホール)やオートキャンプ場、大型遊具「ノアディ城」などがあります。  
5)紀美野ふれあいマラソン大会／毎年12月に「のかみふれあい公園」で開催され、県内外から約1,300人のランナーが参加し、健脚を競います。  
6)だるま石溪谷／貴志川の上流に、だるまのような形をした丸い巨岩があり、だるま大師が祀られていたと伝えられています。



町の鳥  
セグロセキレイ



町の木  
カヤ



町の花  
さくら



町章

## 紀美野町

平成18年1月1日合併  
合併前…野上町・美里町

人口／10,998人(男5,130人 女5,868人)

世帯数／4,641世帯

平成22年3月1日現在

# 顔のある町

vol.09

～表情豊かなまちづくりめざして～

kimino-cyo

## 豊かな自然を生かし、 活気と夢のあるまちを。



紀美野町長  
寺本 光嘉

告知のとおり、私たちの紀美野町は中山間地域にありますが、地理的には和歌山県庁から車で35分、関西国際空港から約50分で来られます。まちを清流・貴志川が東西に流れており、その流域に広がる丘陵地には豊かな自然が息づいています。まちには良質な泉質の温泉が2カ所あります。また星の動物園として知られる「みさと天文台」は、世界で初めて望遠鏡の映像をインターネットで世界中に配信できるシステムを備えた公開天文台です。さらに南部には長峯山系が連なり、「生石高原」という見晴らしが最高の県立自然公園が広がっています。私はこうした美しく豊かな自然を生かした「活気と夢のある」まちづくりを行っていきたく思っております。

まず、平成27年に開催される第70回和歌山国体において紀美野町は「ホッケー」のメイン会場になっております。それに向けてのインフラ整備と住環境整備を進めているところです。国道370号の野上工区、美里工区、毛原工区を平成25年度までに完成。これに付随する県道岩出野上線の延伸や町道など主要道路を順次、整備改修してまいります。また人口対策の一環として、イターン、Uターン、Jターンの受け入れを推進しています。平成18年、私が掲げておりましたマニフェストにもありますが、町産業課を窓口として外郭団体「定住を支援する会」(ポランティア団体)を設立。さまざまな施策で希望者の移住先である仮設住宅を確保しつつそれを斡旋しております。これまでに21世帯45名の方々が紀美野町に移ってこられました。まだ約140組の方が待たれておられますが、支援団体と協力しながら受け入れ体制をさらに強化していきたいと考えています。また、福祉対策として、ましては、紀美野町では平成18年4月から小学6年生までの医療費の無料化を実施。当時は県下では初めての試みで、全国でも37番目という早さでした。新たに来月から37番目という早さでした。新たに来月からは義務教育期間である中学3年生までを対象として医療費無料化の実現をめざします。高齢者の方々には老後の孤立感を少しでも払拭していただくこと「高齢者ふれあいサロン事業」を立ち上げ、各地区ごとに心のふれあいやコミュニケーションの輪を広げていく働きかけを町職員も混じえてきめ細やかに行ってまいります。まちづくりの基本的な考えとして、私は町民の皆さまの盛り上がりによってつくるまちづくりと、行政が重点的におこなう住環境整備等、この二つが両輪になることが最も理想的ではないかと考えております。その具体策として「みんなで作るまちづくり」という考えのもと、各種団体の方々や個人参加の方々で組織立てた「まちづくり推進協議会」の存在があります。美しい郷づくりや特産品を育てていく地域ブランドづくり等の部会を設け、それぞれが民主導の精神で皆さま精力的に活動が続けておられます。ともに紀美野町の活性化に取り組んでまいります。

4/（祝）  
29

### 「Sioトープ子どもまつり」

場所／Sioトープ(御坊市塩屋町)  
隣接するEEパークとともに大人も子どもも楽しめるのでファミリーやカップルに最適です。

5/（日）  
9

### 「みやこ姫よさこい祭り」

10:00～17:00 (“いこらDE”フェスティバル)  
場所／日高川ふれあい水辺公園(御坊市野口)  
郷土の伝統芸能やよさこい踊りなどの舞台発表や、フリーマーケット、物産市が賑やかに開催されます。

●農産品／キヌサヤ、メロン、みかん、いちご、トマト、花 ●特産品／金山寺みそ、醤油、つりがねまんじゅう、なれずし ●史跡・文化財／日高別院、寺内町、熊野古道、岩内古墳、歴史民俗資料館 ●レジャー施設／日高川ふれあい水辺公園(キャンプ場・ゴルフ場)、御坊総合運動公園、日高港緑地公園、観光農園(みかん・いちご・メロン)



1)日高別院と大銀杏／浄土真宗本願寺派の名刹。「御坊様」「御坊所」と呼ばれ御坊市の名前の由来となる。境内の大銀杏は県指定天然記念物。 2)御坊市花火大会／毎年8月下旬に日高川河川敷で開催される夏の風物詩。 3)わがまち元気プロジェクト「花のまち御坊」実施中／スターチス・宿根カスミソウ・スイートピーは全国有数の出荷量を誇ります。 4)御坊祭／「人を見たけりゃ御坊祭」と例えられる当地方最大の秋祭り。毎年10月4・5日に小竹(しの)八幡神社で行われる。 5)Sioトープ／海水が流れる親水池を取り囲む緑地公園。園内には『水木しげるが描くゲゲゲの鬼太郎と和歌山の妖怪』像があり、日高港周辺に生息する小魚も放流している。 6)日高港新エネルギーパーク(EEパーク)／次世代エネルギーの可能性や未来像を見て学び体験できる複合施設。ゲーム感覚で学べるエネルギークイズやソーラーカー(無料)のミニサーキット場も。



市の花木  
ハマボウ



市の木  
くろがねもち



市の花  
こぎく



市章

## 御坊市

人口／25,932人  
(男12,370人 女13,562人)  
世帯数／10,458世帯  
平成22年3月末現在

# 顔のある町

vol.10

～表情豊かなまちづくりめざして～



# ひとが輝き いきいき暮らせるまち



御坊市長  
柏木 征夫

## 御

坊市は和歌山県のほぼ中央部に位置し、海・山川の自然に恵まれた紀中地域の中核都市です。市内を貫流する日高川流域では、カヌーやゴルフ、オートキャンプなどが楽しめ、さらに田園地帯の観光農園では、みかん、いちご、メロン狩りなど四季を通じた自然体験型の観光に力を入れています。本市の主な産業として温暖な気候を生かした農業、とくにスターチス、宿根カスミソウ、スイートピーなどの花卉類は全国有数の出荷量を誇っています。一方、南北約15kmにわたって広がる海岸線では古くから沿岸漁業が盛んで、アジやサバ、ハマチ、タチウオといった回遊魚をはじめ、アワビやイセエビなどの好漁場になっています。近年では「獲るだけの漁業」から「つくり育てる」資源管理型の漁業へとシステムの転換をはかり、収益の安定と経営の近代化を推し進めています。また、紀伊水道に面した重要港湾日高港の利用促進を図るため、企業誘致や観光クルーズ船の寄港誘致を推進しているほか、港内にある「新エネルギーパーク(EEパーク)」では、見て・学んで・体感できるプログラムを設定し、新エネルギーのことが分かりやすく学習できると、学校をはじめ各方面から好評を得ています。

## 市

内を流れる日高川は生活用水や農業用水として利用されているだけでなく、レクリエーションの場としても利用され、世代を超えて人々に愛されています。なかでも河口の干潟は「日本の重要湿地500」に選定(環境省選定)されており、瀬戸内海からの南海流と黒潮の支流が合流する海岸線ではさまざまな魚が生息しています。そういった恵まれた自然背景をもとに、多くの皆さま方のご協力を得て、昨年10月に日高港塩屋緑地に「Sioトープ」をオープンさせました。近畿初となる「水木しげるが描くゲゲゲの鬼太郎と和歌山の妖怪」の石像が置かれ楽しく妖怪たちとふれあいが、親水池には磯辺に生息する様々な種類の小魚を放流し、子どもたちや散策を楽しむ人々に海の生物を身近に観察していただくとうと、憩いの広場を設けました。近くには熊野九十九王子の一つである塩屋王子神社(別名:美人王子)や、市の天然記念物に指定されている「ハマボウ」の群生地があります。また地元日高高校生物部が定点と決めて日高平野に生息する野鳥を観察しています。その数200種に及びますが、約40年という長期にわたってすぐれた調査、研究を重ねています。じつは私も趣味のカメラを活かして『Gobokrap・チームP』という会のメンバーと共に市に生息する海水魚や野鳥などを撮影しています。パソコンで編集した図鑑のような「下敷き」を作成し、障害者就労のショップ『陽だまりサロン・シヤペローゼ』にその販売を委託しています。このように市民の皆さまに地元の自然をもっと知っていただき、その魅力を再認識してもらえよう、いきいきと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

http://www.city.shingu.wakayama.jp/

### 8/木 12 「熊野徐福万燈祭」 (新宮花火大会)

場所／熊野川河原  
2200年ほど前に秦の国から渡来した徐福の遺徳を偲んで開催される供養式典の中で行われる花火大会。熊野川河原にて打ち上げられ、ナイアガラや水上スターメインなど多彩な花火が夏の夜空を彩ります。

### 10/木 14 「熊野速玉大社例大祭、 神馬渡御式、御船祭」

場所／熊野速玉大社  
毎年秋に行われる熊野路の秋を彩る行事。熊野三山の中心に座す神々の来臨の様子を厳修再現する特別大祭で、祭の開幕は、「本殿大前の儀」から始まります。フィナーレを飾る「早船競漕」は約1000年以上の歴史のある勇壮な神事です。



瀨八丁(瀨峡) 1



大雲取越:円座石(わろうだいし) 2



熊野速玉大社 3



お燈まつり 4



徐福公園 5



浮島の森 6

1)そそり立つ岸壁、奇石・巨岩と原生林の自然美が堪能できる峡谷を、ウォータージェット船で遊覧する新宮の人気スポット。2)岩肌に浮き出た三つの梵字は、修験者が刻んだものとされており、右から熊野三山の本地仏である阿彌陀仏、薬師仏、観音菩薩を表しています。3)熊野三山のひとつとして全国に祀る数千社の熊野神社の総本宮。約二千年前の景行天皇58年の御世に、熊野三所権現が最初に降臨せられた元宮である神倉山から現在の鎮座地にお遷りになり、神倉神社の『旧宮』に対して『新宮』と号したと古書にみえます。4)2月6日の夜、白装束に松明を手にした男たちが、神倉神社の538段の石段を一齐に駆け下りる勇壮な火祭り。火を神聖視した古代原始信仰の様子や修験の山の火と魂の更新を伝える重要な儀式です。5)徐福の墓を中心とした公園で、極彩色の中国風楼門と静かな慈愛の笑みを浮かべた徐福像、そして徐福が秦の始皇帝の命を受けて不老不死の靈薬(天台烏薬)を発見したと言われる石碑などがあります。6)市街地の中央部にあり、約5,000㎡の島全体が沼の中に浮いています。約130種余りの樹木が森をつくり、珍しいシダ類や水生植物も見ることができます。寒暖両性の植物の混生群落が珍しく、国の天然記念物に指定。



天台烏薬 市の木

ナギの木 市の木

川さつき 市の花

市章

## 新宮市

平成17年10月1日合併  
合併前…新宮市、熊野川町

人口／32,599人(男15,090人 女17,509人)  
世帯数／15,826世帯  
平成22年3月31日現在

# 顔のある町

vol.11  
～表情豊かなまちづくりめざして～



## 住んで良かったと誇れる まちづくりに邁進。



新宮市長  
田岡 実千年

### 新

宮市は紀伊半島の東南部にあって太平洋に面し、豊かな水資源と樹木育成に恵まれた素晴らしい自然環境の中にあります。古くは日本書紀などで

熊野神邑(くまのかむのみら)と呼ばれ、熊野信仰の中心地として栄えました。中世には熊野参詣の目的地の一つ、熊野速玉大社の門前町として発展。今日に至るまで熊野地方の行政、経済、文化、教育の中心都市として進化してまいりました。市街地には熊野速玉大社をはじめ、権現山(神倉山)、徐福公園、新宮城跡、阿須賀神社、浮島の森といった世界遺産や文化財、あるいは佐藤春夫記念館、西村記念館といった新宮市出身の文学者、文化人たちの記念館などが数多く点在しています。また、熊野は異界である。として多くの作品を残した中上健次氏の文学と業績は近年、世界各国で注目されています。私たちはこれら、郷土の宝のさらなる公開の場を今後設け、一人でも多くの方に関心をもっていただき、大勢の観光客を呼び込んで、まち全体を活性化するための起爆剤としていきたいと考えています。具体策としては平成26年完成を目標に、市民会館及び丹鶴小学校用地に文化ホールと図書館、そして博物館機能を持つ熊野学センターを融合させた文化複合施設を建設いたします。現在、国立博物館などに寄託されている国宝級の貴重な文化財をゆくゆくは「こちらへ、お里帰り」してもらって展示、収蔵できる博物館に仕上げていきたいと思えます。ここを訪ねれば熊野のことがわかる熊野学センターをはじめ、多目的ホール、セミナー室、駐車場などを完備してまいります。当該地区は速玉さんの門前にあつて、既存の記念館や史跡なども周辺にまとまつており、観光客の方々も回遊しやすく楽しんでいただけたらと思います。

### 私

は昨年10月の就任以来、数ある行政課題のなかでも「雇用の創出」を最も緊急かつ深刻なテーマとして捉え、

取り組みを進めてまいりました。企業誘致や商工業の活性化は重要な案件です。そのために市役所の組織再編で今年度から「企画政策部」と「経済観光部」を新設いたしました。そしてこれらを網羅する雇用対策などこれまで以上に取り組んでまいります。また私は「市政は市民のためにあり」という理念を掲げ、職員とともに市民のための市政を断行していくために、本年度から「みんなの課」を設置。市民からの公募も取り入れた市民参加型の市政運営に力を注いでまいりますとともに、まちの活性化に向けては、観光産業を大きな柱と位置づけ、行政と市民が一体になって、「熊野の都 新宮」を全国、いや世界に向けてこれからも強く発信し続けてまいります。

### 8月上旬 「湯浅まつり」

場所／湯浅町 港・蔵町周辺  
今年で34回目を迎える、湯浅町の夏の風物詩。約1500発の花火が湯浅湾の夜空を彩ります。ぞめき踊り、三面獅子なども催され、多くの夜店が並び賑わいます。

### 10月下旬 「紀州湯浅の鯖と鱈まつり」

場所／湯浅湾漁業協同組合 及び 湯浅水産物商業協同組合周辺  
サバの炭火焼きや、その場で調理した刺身、タタキなどが人気です。また船釣り大会や湯浅特産品のフリーマーケット、鯖と鱈グルメフェアなどもお見逃しなく。

湯浅町は古くから良好な漁場である湯浅湾に恵まれ美味しい魚が水揚げされてきました。鱈や鯖のほか、いわしの稚魚「しらす」も有名です。とれたてを大釜で茹で上げた「釜揚げ」、ゆでたしらすを天日で乾燥した「ちりめん」、湯浅には伝統の加工法が今もなお受け継がれています。



1)~3)湯浅の町並み/国の『重要伝統的建造物群保存地区(略:重伝建地区)』に選定された地区は、醤油醸造業が最も盛んであった一帯に位置し、『通り』『小路』で面的に広がる特徴的な地割と、醸造業関連の町家や土蔵を代表とする近世から近代にかけての建造物が残されています。4)岡正(おかしょう)休憩所/重伝建地区である鍛冶町通りと北町通りの角に建つ休憩所。湯浅の歴史、文化、観光、物産などの情報を発信する拠点でもあります。5)四つ手網漁(よつであみりょう)(シロウオ漁)/湯浅町と広川町の間を流れる広川では、毎年2月下旬頃から3月下旬にかけて産卵のため遡上してきたシロウオを四つ手網といわれる特殊な網で掬い取る漁法が行われており、春を告げる風物詩となっています。6)国民宿舎湯浅城/お城の形をした国民宿舎。展望台からは湯浅湾までが一望できます。7)栖原海岸/リアス式海岸で自然美に恵まれ、海水浴・釣りのスポットとなっています。夕陽は「和歌山の朝日・夕陽100選」に選ばれています。



町の木  
なぎの木



町の花  
三宝柑の花



町章

## 湯浅町

人口/13,846人(男6,548人 女7,298人)  
世帯数/5,687世帯  
平成22年6月1日現在

# 顔のある町

vol.12  
~表情豊かなまちづくりめざして~



# 安心、安全に暮らせる まちづくりをめざして。



湯浅町長  
上山 章 善

## 私

は町長職に就任して以来、多くの町民の皆さまをはじめ、町議会のご理解を得ながら、さまざまな課題の解消に向け、町職員とともに一丸となって取り組んでいます。わが町にとっても依然厳しい財政状況の中ではありますが、まずもって町民の皆さまが安心して生活できるよう『安心して暮らせるまちづくり』をスローガンに掲げ、町民の皆さまの生活に必要な事業を最優先して進めるべく鋭意努力を傾けてまいります。まず緊急性の高かった学校施設の耐震化施策については、耐震二次診断の結果に基づき、いずれも築50年余りを経たきた地元の湯浅小学校と湯浅中学校は新たに建替え致します。また残り3校の小学校については耐震工事をを行います。ほかにも講堂や体育館、特別校舎など今年度中にすべての耐震工事を実施すれば学校施設の耐震化率は100%に達します。事業の目的はもちろんです、第一に私たち湯浅町の次代を担う子どもたちの安全と安心を守ること。災害時には、町民の方々の心強い避難所としての役目を兼ねています。また昨年12月、町内全世帯へ「防災ラジオ」を無料配布しました。災害時、緊急放送や災害情報リアルタイムに聴けるよう工夫しています。これは県下で初めての試みとなりました。

## 湯

浅町はかつて商人たちが行き交い、熊野街道を旅する宿場町として賑わった歴史あるまちです。醤油の発祥地であり、醤油や味噌醸造業で栄えた伝統的な古い町並みには今も江戸末期の町家や土蔵などが数多く残り、独特の風情を漂わせています。平成18年12月には国から県下初の「重要伝統的建造物群保存地区」、略して「重伝建地区」として選定されました。あらためて湯浅町のもつ歴史的な価値が再認識されるきっかけとなり、地元の方々の努力も手伝って、年々来町者の数が増えています。湯浅町には金山寺味噌や醤油、しらすなどの海産物、三宝柑、温州蜜柑といった人気が特産物を生産していますが、さらに観光と産業をコラボレーションさせ、まち経済の活性化に繋がるよう新たに観光客を呼び込める仕掛けづくりが必要だと思っています。そのためには民間と行政が一体となってまちのイメージアップに繋げていきたいと考えています。その対策の一つとして、重伝建地区にある集会所を、観光客の皆さんにとって快適で便利な「休憩所」としてご利用いただけるよう図るとともに、災害時にはその場所が避難所として活用できる施設として安全性をも兼ね備えた改築を計画しています。将来に向けて複眼的なアイデアをもって、湯浅町をさらに魅力あるまちに磨きたいと強く思っております。

8/火 10 「白浜花火大会」 午後8時～9時 場所/白良浜  
スターメイン、仕掛け花火など、趣向を凝らして、白浜の夜空を豪華に飾ります。

8/木 26 「熊野水軍埋蔵金探し」 午前10時～午後3時 場所/白良浜  
その昔、熊野水軍の船が嵐に遭い白良浜に打ち上げられ、宝を白良浜に隠したという言い伝えにちなんで、熊野水軍の宝を探す人気の冒険イベント。参加無料。

9/金 10 「南紀白浜フラフェスティバル」 午後4時～7時 場所/白良浜特設ステージ  
真っ白な砂浜でロマンチックな夕陽の下、最高のステージで繰り広げられるフラのフェスティバルです。

●ほんまもん体験(白浜の文化や生活を楽しめる体験メニュー)  
体験ダイビング・体験工房・藍染体験・カヌー体験・陶芸体験・  
紀州備長炭作業体験・農業体験・乗馬体験など(要予約)



1) 円月島/正式には「高嶋」といい、真ん中にぽっかりと円月形の穴が開いていることから「円月島」と呼ばれている。夕陽が円月島に沈みゆく風景は、とくに美しい。 2) 花火大会/早打ちスターメイン、仕掛け花火などがあり、湾全体を銀世界に包むナイアガラは見もの。 3) 川添茶/わがまち元気プロジェクト「南紀白浜・川添茶」の振興と白浜観光魅力アップ!実施中!川添茶は、しっかり揉むことに重きをおいて、高品質の煎茶を製造しており、「旨味」と「おいしさ」をしっかりと味わえるのが特徴です。 4) 崎の湯/万葉の昔から現存する歴史ある湯堂。太平洋を間近に眺めることができ、開放感のある露天風呂です。 5) 白良浜/延長640mに渡る白砂の浜。「日本の快水浴場百選」にも選ばれており、また、ハワイのワイキキビーチと「友好姉妹ビーチ」の提携を結んでいます。 6) 三段壁/千畳敷の南側に立つ高さ50～60mの大岩壁。岩肌に打ち寄せる波が、自然の大迫力を感じさせます。



町の鳥  
しらひばり

町の木  
さくら

町の花  
はまゆう

町章

# 白浜町

平成18年3月1日合併  
合併前…白浜町、日置川町

人口/23,585人(男10,985人 女12,600人)  
世帯数/11,076世帯

平成22年6月1日現在

# 顔のある町 vol.13

～表情豊かなまちづくりめざして～

# 自然、環境、癒しと元気で また来たくなるまちに



白浜町長  
水本 雄三

わが町の主力産業である観光、その主軸ともいえる白浜温泉は日本最古の歴史を誇り、なかでも湯崎にある崎の湯は「紀の温湯」とも呼ばれ、飛鳥・奈良の時代より斉明天皇、文武天皇、持統天皇をはじめ、多くの宮廷貴族が訪れた由緒ある温泉です。また日本の渚百選の一つである白良浜をはじめ、太平洋に突き出た三段壁の勇壮な光景、広大な岩畳の千畳敷、円月島の優美なシルエットなど、まち全体にはさまざまな景勝地が点在しています。平成16年、世界遺産に登録された熊野古道大辺路ルートがわが町では、富田坂、安居の渡し場、仏坂と連なっており、こちらも人気を集めています。かつて日本が明治維新を境として大きく変貌していったように、今また同じように混迷しながらも大きく形を変えながら新たな時代に対応すべく、「まちづくりのあり方」として様々な動きが活発になっています。

その一例として観光産業というカテゴリーでは「マスツーリズム」からの脱却、そして「エコツーリズム」へのシフトチェンジです。エコツーリズムは90年代に広まったものですが、その精神は自然や環境との共生を図ろうとするエコロジーの思想です。地域の環境や生活、文化を破壊せず、自然や文化とふれあい、そこから学ぶことによって自然や地域資源の大切さを改めて知ろうというものです。今注目されている農村体験や農業体験、自然探訪などもエコツーリズムの具体的な内容の一つでしょうが、わが白浜町では日置川地域(旧日置川町)の有志の皆さんが「大好き日置川の会」という組織を発足し、精力的に活動を展開しています。当該地域の体験観光を次々と提案、藍染め体験や紀州備長炭作業、陶芸、カヌー、酪農ソーセージ作り、その他様々な農林水産体験を実施して町外の人々にも楽しく体感してもらいながら地域の活性化に一役買っておられます。あるいは先述の熊野古道大辺路・富田坂の保全と整備を地元在住の会員を中心に「大辺路富田坂クラブ」がこれも官民一体となって活動しています。これらの活動内容はいずれも大変素晴らしいものです。

将来に向けて、私たちの白浜町はこれまでに継承されてきた貴重な歴史的な文化遺産を基軸として、現代的なテーマである「エコロジー」をもう一方の軸として多角的に相互融合させ、たとえば観光分野では「世界遺産ネットワークを強化、地域観光企画を発信する」「マリンスポーツなど体験型スポーツ観光などで年間を通じて賑わいをつくる」、農林水産分野では「農林水産省のバイオマスタウンに採択されるよう取り組み、農業をはじめ第一産業のバイオマス事業を展開させる」など、白浜町ならではの独自の取り組み方を持って一層力強く前進してまいります。

5/4・5

### 「真田祭」

場所／町営入郷駐車場とまちなか周辺

九度山町で暮らした戦国武将・真田昌幸・幸村を偲ぶお祭りです。九度山町の商店が集う真田の市や各種ステージイベントも開催され、真田昌幸・幸村・大助・真田十勇士に扮する大人や子どもの武者行列はこの祭の最大のイベントで、多くのファンが訪れます。

11月中旬

### 「大収穫祭 IN 九度山」

場所／町営入郷駐車場

九度山町の特産である「富有柿」を多くの方に知っていただきたい思いから始まったお祭りです。地元の農家さんにご協力いただき、富有柿の直売や柿の加工品を販売。他にもお母さんたち手作りの柿の葉寿司や地元の味を楽しんでいただけます。ステージイベントやフリーマーケットも開催され、子どもから大人まで楽しめる秋の大イベントです。



1)真田庵/真田昌幸・幸村が暮らしていた屋敷跡に建つお寺。境内には宝物館・真田昌幸が祀られる真田大権現があります。2)慈尊院/弘法大師の御母公ゆかりのお寺『慈尊院』。昔は高野山の政所として栄えました。ご本尊の弥勒菩薩座像は国宝で、お寺も世界遺産に登録されています。3)松山常次郎記念館/松山常次郎氏の長女であり、日本画家故平山郁夫夫人でもある平山美知子氏が、後世に父の業績を伝えたいと建てた記念館。中には、常次郎氏の遺品や故平山郁夫画伯が描いた常次郎氏の肖像画などが展示されている。4)九度山町展望台/九度山町をはじめ、近隣の市町村が一望でき、ここからの朝日は「和歌山県の朝日・夕陽100選」に選ばれています。5)高野山町石道/かつての高野山への表参道、僧侶たちの修行の道である『高野山町石道』。その入口が九度山にあります。6)推出鬼の舞/推出殿島神社で毎年8月16日の夕暮れ時に五穀豊穡・天災や悪疫の退散を願い鬼が舞います。県の無形民俗文化財指定。



柿の木の

ポタン町の花

町章

## 九度山町

人口/5,204人(男2,406人 女2,798人)  
世帯数/1,994世帯  
平成22年7月31日現在

# 顔のある町 vol.14

～表情豊かなまちづくりめざして～

kudoyama-cyo

# キーワードは「真田」 日本一元気なまちに。



九度山町長 岡本章

**隣** 市の橋本市も含め、九度山町は大阪の都心まで約40数キロという通勤圏内にあり、県の東の玄関口として優れた立地環境にあります。それでいて、私たちのふるさと九度山町は玉川峡をはじめとする美しい自然に恵まれ、秋には特産品である「日本一の富有柿」の収穫でにぎわう町です。端午の節句にまちを挙げて開催される『真田祭』とともに、富有柿のPRを目的として始めた『大収穫祭 IN 九度山』はこの秋で第4回を迎えます。例年11月中旬に二日間に行なわれて開催いたしますが、約2万人の来場者が見えになります。

ま九度山町が官民一体となって取り組んでいる産業の一つに「観光」があります。まちを大きく三つのゾーンに分け、その一つが世界遺産ゾーンです。816年、弘法大師が高野山開創の折、参詣の要所にあたるこの地に表玄関として、一山の庶務を支配する政所がおかれました。それが慈尊院(世界遺産)です。他にも同じく世界遺産に登録されている丹生官省符神社、高野山町石道などが町には貴重な歴史的資産として「世界遺産」レベルの史跡や文化財が数多く点在しています。それらを多くの方々にぜひ来て見ていただきたいのがまず一つ。また今、若い女性たちのあいだで戦国武将ブームになっていますが、その中でもとくに人気の高い真田昌幸・幸村親子ゆかりの地であり、隠棲時代の屋敷跡「真田庵」(県指定史跡)に象徴される旧家などを核として、まちなかをゆつくり散策していただけるコース(まちなかゾーン)を設けております。たとえば郷土が生んだ政治家、松山常次郎に関する遺品や資料を展示した『松山常次郎記念館』を開設。この記念館には日本絵画界の巨匠、故平山郁夫先生の絵画も展示されています。また旧萱野家(町指定建造物)には障害者の母と呼ばれた大石順教尼の遺徳をしのぶ遺墨作品などを公開、『大石順教尼の記念館』として開設しています。さらに古民家を利用した「まちなか休憩所」をオープン。住民と観光客の憩いの場として自由にご利用いただけるとともに、九度山ならではの土産品販売コーナーも併設しています。

**九** 度山町では「真田」をキーワードとした様々な町おこしに取り組んでおりますが、その一つ、新たな特産品づくりの試みとして、信州真田(上田市)仕込みの『紀州九度山真田そば』を実現させました。公募で集まった研修生たちに上田市で一年間本場のそば打ちを学んでいただき、10月頃より彼らの打った『紀州九度山真田そば』を町内で召し上がって頂くことが出来ます。また大阪冬・夏の陣で勇名を馳せた『真田の赤甲冑』の手作り教室や、民家や商店などに残る由緒あるひな人形や五月人形を披露する『町家の人形めぐり』(来年は4月～5月頃予定)など、町内の有志の方々が中心となってユニークで活気ある町民活動が盛んになってきています。町民の皆様とともに知恵を出し合い、「日本一元気な九度山町」をめざしてがんばってまいります。ぜひ九度山町へお越しください。

### 10/日 24 「あげいん熊野詣」

場所／大門坂→表参道→熊野那智大社→那智山青岸渡寺  
その昔、「蟻の熊野詣」と呼ばれた行列をかつての時代衣装そのままに再現し、雄大な自然の残る熊野古道の中でも最も美しい「大門坂」から「表参道」、「熊野那智大社」、「那智山青岸渡寺」に至るコースを辿ります。

### 11/土 6 「いせえび祭り」

場所／勝浦漁港

長い海岸線と磯が続く那智勝浦町のいせえび総水揚げ量は県下有数。那智勝浦町秋の味覚として広くPRするためにこの祭りを計画。

### 2011 1/土 29 「第17回まぐろ祭り」

場所／勝浦漁港

生まぐる1本を地元調理師会が観衆の目の前でさばき刺身にしましたが、これをおさえ、八咫鳥に導かれて大和に入られたと伝えられています。丹敷戸群は、現在熊野三所大神社に祀られています。6)熊野那智大社の別宮「飛瀧神社」のご神体として古くから人々の畏敬を集めてきた那智大滝。熊野の山塊、その奥方より日本一の落差(133m)で流れ落ちる姿は圧巻。日本三大名滝のひとつ。御滝の水は「平成の名水百選」、その麗しき水の落ちる音は「音のある風景百選」に選ばれています。



あげいん熊野詣 1



いせえび祭り 2



まぐろ祭り 3



勝浦漁港 4



JR那智駅と那智駅交流センター 5



那智大滝 6

4)古くは「さいら(秋刀魚)漁」が中心でしたが、近年、生鮮マグロの水揚げは日本一であり、勝浦ブランドとして全国的に有名。5)残しておきたい日本の駅舎100選にも選ばれた社殿風駅舎「那智駅」に、本年11月完成を目指して、道の駅が整備されます。那智駅は、那智山詣の玄関口。併設する交流センター2階には温泉入浴施設「丹敷の湯」が併設され、南紀勝浦・湯川温泉の湯めぐり旅の始発駅でもあります。地産地消を合言葉に地元で採れた野菜等の物産販売もあり、「丹敷の湯」の由来…那智駅交流センターの前面に広がる海岸は、日本書紀に登場する神武天皇東征の上陸地ともいわれ、丹敷浦(現:浜ノ宮海岸)と呼ばれています。神武天皇は大和に向かうにあたり、この地上陸する際、地元の豪族・丹敷戸群の抵抗にあいりましたが、これをおさえ、八咫鳥に導かれて大和に入られたと伝えられています。丹敷戸群は、現在熊野三所大神社に祀られています。6)熊野那智大社の別宮「飛瀧神社」のご神体として古くから人々の畏敬を集めてきた那智大滝。熊野の山塊、その奥方より日本一の落差(133m)で流れ落ちる姿は圧巻。日本三大名滝のひとつ。御滝の水は「平成の名水百選」、その麗しき水の落ちる音は「音のある風景百選」に選ばれています。



町の木  
かし

町の花  
つつじ

町章

## 那智勝浦町

人口／17,648人(男8,183人 女9,465人)  
世帯数／8,461世帯  
平成22年9月1日現在

# 顔のある町

vol.15

～表情豊かなまちづくりめざして～



nachikatsuura-cyo

# まぐろと温泉のまち、世界遺産を活かして。



那智勝浦町長  
寺本 眞一

## 地

方を取り巻く環境は刻一刻とめまぐるしく変化をくり返し、私たちの那智勝浦町も、今まさに変革の時代にあります。そのなかにあって、まず活気あふれるまちづくりを念頭に置き、町政を進めてまいりたいと思っております。那智勝浦町は天然の漁場に恵まれ古くから漁業が盛んで、県下でも屈指の漁業のまちで、なかでも近海で獲れる生鮮マグロは日本有数の水揚げ高を誇っています。また、古くから「さいら(秋刀魚)漁」が盛んで、脂の少ないさんまで作った「さんま寿司」は地元の名産として有名です。その他、伊勢エビ総水揚げ量も県下有数。わが町ではこれら海の味覚を広くPRするためにも「まぐろ祭り」「いせえび祭り」などイベントを通して県内外の人々に那智勝浦町の特産品を今後とも強くアピールしてまいります。

## 2

004年、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されました。本町は熊野那智大社、青岸渡寺、那智大滝、熊野古道、那智原始林、捕陀洛山寺という6つの世界遺産を有しています。これらはいへん価値のある自然遺産、あるいは歴史的、文化的な遺産であり、古からの山岳霊場と参詣道、それを取り巻く文化的景観は、現在にあってわが町の観光の中心として重要な役割を果たしています。本町は那智連峰が北部に連なり、そこに源を発する那智川、太田川が熊野灘にそそいでいます。空撮写真をご覧になれば一目瞭然ですが、わが町の平地の大部分がこれら両河川の流域と海岸地域とで構成されており、緑豊かな農業地域として利用が盛んです。一方、リアス式の海岸線には勝浦港など天然の良港が並び、「紀の松島」など美事な景観がゆつたりと広がっています。さらに那智勝浦町は古くから有数の温泉郷であり、那智山を背後に勝浦温泉、郷土の文豪・佐藤春夫が名付けたゆかし湯には湯川温泉が今も湯けむりをあげています。

## 県

下でも有数の老舗ホテルを幾つも有する那智勝浦町は、観光を主たる産業としてきました。マスツーリズムから個人旅行へと大きく変化してきた現代の観光産業にあって、本町ではこれらの時代の変化に対応すべく、宿泊施設のあり方、観光資源の活かし方、さらには地産地消と申しますか、地元で獲れた魚介類や野菜、おいしい米などを含む本物志向の新鮮な食物に特化させた独自のグルメを志向し、まちをあげて観光のお客様の集客が倍増できるよう目標をおき、官民が一体となって創意工夫を重ねていきたいと考えています。また、紀南の海、山、川の美しい自然をもっと大胆にアピールしながら、例えば農村や山間部、あるいは海辺での体験観光や学校児童を対象とした体験学習のまちとして、魅力あふれるプログラムを提供してまいりたいと考えております。

2010  
2/水  
10

### 「クヌッセン機関長を偲ぶ献花祭」

場所/日ノ岬パーク  
昭和32年2月、日本船(高砂丸)を救助しようと、真冬の嵐の夜、海に飛び込んで殉職されたデンマーク人・ヨハネス・クヌッセン機関長の愛と勇気にあふれた行動を讃え、毎年2月10日に献花祭を行います。供えるお花は機関長の好きだったというキンセンカを献花。

10月  
初旬~中旬

### 「御坊祭」「吉原祭」「和田祭」

場所/御坊市小竹八幡神社、吉原王子神社、御崎神社  
秋は自然の恵みに感謝して豊穡を祝う祭りの季節です。「御坊祭」は紀南地方きってのにぎやかな祭りで、御坊市小竹八幡神社で行なわれます。美浜町からは1地区が氏子として参加。「吉原祭」は毎年10月中旬に行われる例大祭です。「和田祭」は煙樹ヶ浜近くの御崎神社でササラを持った王仁・和仁と獅子が鳴物無しで舞う獅子舞が有名です。



1)日ノ御崎灯台と高浜虚子の句碑/紀伊半島最西端に位置する標高200mの「日ノ御崎」一帯は、「日ノ岬パーク」として整備されており、突端に立つ白亜の日ノ御崎灯台のそばには高浜虚子の句碑が建つ。パーク内から紀伊水道を見下ろす眺望はすばらしく、訪れる人々の憩いの丘となっている。2)カナダ資料館(日ノ岬パーク内)/移住先のカナダから帰国した人々が持ち帰った、当時の生活用品などの資料を展示。3)クヌッセン機関長の胸像(日ノ岬パーク内)/昭和32年2月、日の岬の沖で火災が起こっている日本船を発見したデンマーク人、クヌッセン機関長は船員を救助しようとして嵐の海で殉職されました。その勇気を讃え、顕彰碑と胸像が建てられています。4)大賀ハス池/昭和26年千葉県にて大賀博士が2000年以上も昔のハスの実から開花を成功させた古代ハス。日ノ岬パーク近くの大賀ハス池にて毎年7月中旬頃ピンクの大輪を開花させます。5)龍王神社のアコウ樹/境内の大半を占めるアコウ樹は推定樹齢300~350年。どっしりと立つその姿は見る者を圧倒します。県指定文化財。6)釜上げしらす/町の特産品。白くやわらかな身はあたたかいご飯にピッタリです。



町の花  
ひまわり

松町の木

町章

## 美浜町

人口/8,173人(男3,819人 女4,354人)  
世帯数/3,233世帯  
平成22年10月1日現在

# 顔のある町

vol.16  
~表情豊かなまちづくりめざして~



## 人がきらめき 緑輝くまちをめざして

### 当

町は昭和29年、松原村、和田村、三尾村の旧三村が合併、町制施行して美浜町として誕生しました。当時の人口は約8,900人、現在の人口が約8,300人です。少子高齢化など近年の時勢から見ても減少した感があります。が、いまは住環境地区と申しますか、おだやかなベッドタウン地域として住民に愛されています。さて当町の象徴であり、いちばんの自慢はなんと言っても煙樹ヶ浜の松林でしょう。太平洋を臨んで、日高川河口から西に向け弓なりに砂利の海岸が続いています。その背後には初代紀州藩主徳川頼宣公が防潮林として植えさせたという青々とした松林が広がっています。その幅、広いところで約500m、長さ約4.6キロメートルに及ぶ大松林で、その規模は近畿で最大級の景勝地、日本の白砂青松100選にも選ばれています。本数にして約6万本、そのうち成木で約5万5000本が植わっております。その一帯は「煙樹海岸県立自然公園」に指定されています。当町にとって貴重な資産であり、先人たちの熱き想いを引き継ぎながら私たちは今もまちを挙げて保全活動に取り組んでいます。近くにはキャンプ場が整備されており、多くの家族連れやキャンパーたちでシーズン中賑わいます。また周辺の自然を取り入れた煙樹海岸多目的広場をこの七月にオープンさせました。町民の方々のコミュニケーション、健康増進の広場などいろいろな目的で大いに活用していただければありがたいです。松林での早朝サイクリングやジョギング、木陰での昼寝などは最高です。遊歩道を歩いているだけで、心身が洗われたようにスッキリしてきます。ぜひ一度お越しになりませんか。



美浜町長  
入江 勉

私 はまちづくりを進めていく上で、町民同士のコミュニケーション、人と人とのつながりというものが何よりも大切だと考えています。その具体的な施策の一つが防災対策です。当町には12の地区がありますが、他町に先駆けて地区ごとの自主防災組織をいち早く立ち上げ、区長さんを筆頭に地域の皆さんが防災訓練など地域活動に積極的に取り組んでいただけるよう町からも支援しながら各地区で自主的にやっていたいただいております。その甲斐あって、各地域ごとのまとまりが出来上がり、災害時における自助、共助の心得も少しずつではありますが着実に浸透してきたように思います。また、まちを挙げて盛り上がる秋祭りでは、さらに町民の心が一つになり、そのとき改めてこのまちに住むことの誇りと歓びを皆さんも感じておられるようです。近代、このまちは海を越えて遠くカナダへの移民を多く輩出し、移民母村として世に知られ、今もカナダの方々と交流が続いています。そういった進取の精神をも併せ持つ美浜町というまちの懐の深さに私は改めて愛しさを感じるのです。



2011  
1/10 (祝)

「天狗まつり」 9:00~15:30 場所/興国寺  
金山寺味噌、醤油発祥の地として知られる興国寺の五大祭りの一つ。天狗によって寺が一夜に再建されたという伝承にちなみ、青年たちが小天狗に扮し、大天狗を交えて再現する天狗の舞が勇壮です。

2011  
1/23 (日)

「すいせん祭り」 10:00~15:00 場所/県立白崎青少年の家  
町の花「すいせん」の開花時期に、南紀最大規模の野生すいせん群生地を有する県立白崎青少年の家で開催します。特に八重咲きのすいせんが香りよく、冬の寒さの中で可憐に咲く姿が美しいです。

5月  
下旬

「元気ゆら!ふるさとフェスティバル」 10:00~16:00 場所/白崎海洋公園  
由良町の観光資源を見直し、地元特産品をPRします。各種ステージイベントや町内の史跡名勝を巡る無料バスツアー、自衛隊協力によるヘリコプター試乗体験のほか、新鮮な海産物や農作物を販売するミニ商店街などが軒を連ねます。



1)興国寺/虚無僧の本山として名高い興国寺は味噌と醤油の発祥地としても知られています。また天狗伝説や源氏ゆかりの寺としても有名です。 2)由良海釣り公園/海だけでなく山や空も美しい海釣り公園には多くの太公望が釣り糸を垂れます。 3)白崎海岸/県内で最も大きい石灰岩地、青い海と白い石灰岩とのコントラストが美しくリゾート気分が楽しめます。特に立岩は白い岩の芸術品といわれ自然の神秘に圧倒されます。 4)スキューバダイビング/白崎海洋公園内にあるダイビングクラブハウスには多くのスキューバたちが訪れ海中散歩を満喫しています。 5)クエ/天然クエは深い海底の岩場に住み、大きいものだと60kg以上にもなる大型の白身魚です。紀伊水道のものが珍重されています。 6)天狗しょうゆと金山寺味噌/興国寺の住職であった法燈国師が伝えた金山寺味噌と醤油が町の特産品になっています。



町の木  
紀州横柏



町の花  
すいせん



町章

由良町

人口/6,893人  
(男3,314人 女3,579人)  
世帯数/2,647世帯  
平成22年7月末現在

# 顔のある町

~表情豊かなまちづくりめざして~



## 感動の海が広がる 白崎で観光まちづくり



由良町長  
畑中 雅央

わが由良町は和歌山県の南北ほぼ中央に位置し、まち全体が東西に広がっています。自慢はなんと言ってもその自然景観の美しさです。まちの西部には県立公園白崎海岸があり、氷山を思わせる石灰岩の岬や岩門を彷彿とさせる立岩(たていわ)、白砂の土生ヶ田(はぶがた)海岸など、その美しさは万葉集にも詠われるほどです。最近では「日本の渚百選」「日本の夕陽百選」などに選ばれ、多くの観光客に親しまれています。そのほか平成の新名所となった戸津井鍾乳洞や町花でもある水仙の群生地もごさいます。また歴史文化財のまちとして由緒ある神社や名刹があり、なかでも開山興国寺は老杉古木の緑にかこまれた禅寺で、普化尺八(虚無僧)日本発祥の地として広く知られています。同寺の開祖である鎌倉時代の名僧・法燈国師が宋での修行から帰国した折、紀州由良に徑山寺(きんざんじ)味噌を伝えたこと、由良町は近傍の湯浅町とともに日本を代表する調味料・味噌と醤油の発祥地であると申せましょう。

今 由良町では県の「わがまち元気プロジェクト」の中でその活性化対象地域に選ばれ、元気なまちづくりに取り組んでいます。もともと由良町は海釣り、なかでも船釣りのメッカとして大勢の釣りが訪れていたのですが、経営者の高齢化や燃料代の高騰、そしてなにより高速道路の南伸など交通形態の変化にともなって民宿への宿泊客が減少しました。釣りをはじめ、わが町を訪れてくださる観光客が半減してしまっただけです。そこで町が誇る白崎海岸に本格的なダイビング体験施設を充実させ、オートキャンプ場やログハウスをつくらせて若者や家族連れの方々に楽しんでいただくために色々なレジャー環境を整えてまいりました。さらに海釣り公園をはじめ、磯釣りや筏釣り、釣り堀など手軽に海釣りの醍醐味を味わってもらえるようフィッシング環境も強化しました。白崎海岸を一つの核として、より積極的にまちのPR活動を実践するとともに、観光の窓口を一本化して客の誘致をはかり、地元食材を使ったランチメニューの開発や高品質みかんを原料とした地元特産品の開発、更には教育旅行等に適した漁業や農業での体験型観光メニューを充実させるなど住民が一体となった観光まちづくりを進めています。

また 極早生みかんとして人気の高い『ゆら早生みかん』や『さつき八朔』といった柑橘類を全国的にブランド化するために、まちをあげていろいろと取り組んでいます。温暖な気候、豊かな食材を生み出す由良町は、地域固有の魅力あふれる資源をたくさん有しています。私たちはそうした資源の活かし方についても一度改めて見つめ直し、新たな事業展開を考えていきます。そしてこの素晴らしい郷土に自信と誇りを持ち、町民一人ひとりがこの豊かさに幸せを感じていただけるよう活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

### 2011 2月中 「すさみ暖かキャンペーン 『寒さ料お返しします』」

場所／観光協会加盟の宿泊施設で  
2月中、午前7時、JR周参見駅内設置の寒暖計が、1度を下回ったら、前日観光協会加盟店にお泊まりのお客様に「寒さ料」として次回割引券を進呈します。

### 2011 2/（火）1 「イセエビ味覚祭り」

場所／観光協会加盟の宿泊施設で  
観光協会加盟の宿泊施設において一泊2食付き9,800円よりイセエビが味わえます。（各コース設定）

### 2/（月）28 「イセエビ博物館」

場所／JR周参見駅コミュニティプラザ  
イセエビの水槽展示やイセエビ漁の歴史、イセエビのうんちく等についての資料を展示。入場無料。  
●お問い合わせ／すさみ町観光協会 ☎0739-55-2004



すさみケンケン鰹 1



イノブータン王国建国祭 2



熊野古道・長井坂 3



夫婦波（めおとなみ） 4



黒の滝 5



キイジョウウロウホトトギス 6

1)ケンケン漁という独特の漁法で釣れたカツオを地元の漁師が鮮度保持の技術を駆使して造るもので、刺し身が絶品。 2)毎年5月3日に行われるイベント。名物「イノブタダービー」をはじめ、建国パレード、朝市、魚のつかみ取り、潮干狩り、シーカヤックレースなど盛り沢山。 3)海岸沿いを歩く風光明媚な熊野古道で、太平洋や枯木灘の美しい景色が楽しめます。古今の文人墨客がこぞって絶賛したまさに無双の絶景。世界遺産に登録。 4)すさみ八景にも選ばれている陸の黒島と恋人岬との間の狭い海峡に、東西から同時に打ち寄せる波がぶつかり合います。手を合わせるような様子は、合掌波とも呼ばれています。 5)周参見川の本流にかかる高さ30mの美しい二段の滝で、初夏の新緑、秋の紅葉が見事。夏には涼を求める人々が訪れ、渓流魚を釣る人達で賑わいます。 6)宮中に仕える位の高い女官に例えて、「紀伊上臈（キイジョウウロウ）と名付けられ、つややかな黄色の花が垂れ下がった姿は気品たっぷり。見頃は9月下旬～10月上旬。町のあちこちで観賞できます。



町の鳥  
メジロ



町の花  
ハマユウ  
（浜木綿）



町の木  
シイ



町章

## すさみ町

人口／4,942人(男2,359人 女2,583人)  
世帯数／2,375世帯  
平成22年10月末日現在

# 顔のある町 vol.18

～表情豊かなまちづくりめざして～



susami-cyo

# すこやかで、さかえ、 みたされる町づくりを。



すさみ町長  
橋本 明彦

**黒** 潮踊る太平洋と深緑の山々に囲まれた自然豊かなわが町、すさみ町。日本で最初の「ひらがなの町」として誕生して56年になります。過疎化などが進むなか、中山間地域の集落対策をはじめ、高齢化社会での福祉の充実、まちの基幹産業である農林水産業と商工、観光の連携、そして都市との交流による地域の活性化など、いま私たちが取り組むべき課題は多岐にわたっています。特に第一次産業の振興には業種ごとの対策ではなく、これからは地産地消の拡大や「ほんまもん体験」など教育旅行の受け入れによる農林漁家の民泊などを通じた商工、観光との連携が大切であり、農林漁業者の所得の向上にむけて取り組んでいるところです。その一つ、『すさみケンケン鰹』は明治期以来行われてきた独特の漁法（ケンケン漁）を駆使した鮮度の良さが自慢のカツオで、すでに漁業関係者や仲買関係者の間では高い評価を得てきましたが、すさみ漁協、すさみ町、町観光協会、町商工会が寄ってブランド化委員会を組織し、様々なPR活動を展開しながら『すさみケンケン鰹』のブランドを確立、また地域の情報発信をはかっています。その他「すさみのイセエビ」「スルメイカ」を前面に出して漁獲物に付加価値をつけて供給することに努めています。

**わ** が町の特産品であるイノブタ肉は長年の研究からベストの組合せとして、雌ブタ（デュロック種またはパークシャー種）と雄イノシシを交配した一代雑種（F1）にこだわり、全国から愛称を公募した『紀州すさみF1イノブタ・イブの恵み』は、猪肉の風味をもちながら柔らかくクセのない美味なお肉です。すき焼き、水煮などの鍋料理から、焼肉、炒め物、ステーキと、すさみ本場の味をぜひ一度ご賞味いただきたいと思えます。観光では「観る観光」だけではなく、「参加・体験型観光」に広がる傾向にあります。すがわが町の素晴らしい自然資源である海、山、川の体験メニューの充実をはかり、地域資源を活用した多種多様なイベントを観光振興に取り組んでいます。例えば『ケンケンかつお祭り』や『イノブータン王国建国祭』などいろいろ趣向を凝らした楽しいイベントも年間を通して開催しています。

**ま** た昭和51年に友好都市提携を結んでいる大阪府寝屋川市とはスポーツや文化、物産展など多くの交流事業を展開して参りましたが、本年3月に同市に本部を置く摂南大学との協定を結び、まちの農業活性化につながる『キャベツプロジェクト』という共同事業を開始しました。メンバーの学生さんたちは同大学の食堂で消費される野菜の種類や量、輸送コストを調べたり、すさみ町の農業の現状を視察するなど積極的に参加。民との交流が生まれ、地域活性化につながっています。町では『すさみモデル』（まちづくりブランドデザイン）としてこれからの将来に向けたまちづくり構想を提唱しています。すべての世代の町民が「元氣」で「活力」ある「楽しい」すさみ町となるよう考え、その実現に向かって一つ一つを丁寧に取り組んでいきたいと思っています。